



ハート(愛)のアセンション日記 6

2013年4月3日

家の近所をウォーキングしていたら、白い杖を持った男性に道を尋ねられました。

目が不自由な方に方角を指で指してもいけないと思い、方向を説明しながら男性の体に手を添えて進行方向へ男性の体の向きを変えました。

それ程遠くでもなかったなので、目的地まで一緒に行っても問

題はなかったのですが、なぜか方向を教えただけで「御一緒
しましょう。」と声をかける事ができませんでした。

男性はそのまま「おおきに。おおきに。(ありがとう。ありがと
う)」と言いながらスタスタ歩いていきました。

その後ろ姿に愛を贈りながらなぜ、目的地まで案内しよう
と申しだせなかったのか考えました。

そして、その言葉は必要なかったからだと思いました。男性
は目が不自由で、多少人に助けを借りる事があっても自分の
力で目的地まで行けるのです。
自分の意志で。自分の力で。

人の力を受け取る事も、ちゃんと愛を受け取る事も大切で
す。その事で、人に「愛を贈る」ことをさせてあげられます。
でも同時に「自力」も大切なんだと思いました。

白い杖のシャキシャキした男性は、私の愛を受け取ってくれ、
さらに自力で進む意志を私に見せてくれました。

そのかっこいい後ろ姿を思い浮かべながら「おおきに。おおきに。」と男性に感謝を贈っています。